

「ParaFes 2018 ～UNLOCK YOURSELF～」開催レポート
アスリートたちの迫力あふれる“真剣勝負！”が実現
「雨あがりのステップ」披露で稲垣吾郎、草薨剛、香取慎吾と会場の心が一つに
秦 基博や May J.も“超人たち”と一夜限りのスペシャルライブを開催
2018年11月23日(金・祝) 場所: 武蔵野の森総合スポーツプラザ

この度、日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、11月23日(金・祝)に「ParaFes 2018 ～UNLOCK YOURSELF～」(協賛:野村ホールディングス株式会社、JXTG エネルギー株式会社、日本航空株式会社、三井不動産株式会社)を下記の通り開催いたしました。

ParaFes は、パラスポーツの普及啓発を通じインクルーシブ社会の実現を目指すライブエンターテインメントイベントで、3 回目の開催となる今年のテーマは「真剣勝負」。パラアスリートとオリンピックによる息をのむ勝負や、障がいのあるミュージシャン、国内人気アーティストたちが、ここでしか見ることのできないコラボレーションでお送りするステージが実現しました。

過去最高の 6,000 人の来場者が見守る中、パラフェスダンサーズによるオープニングパフォーマンスに続き、パラサポ最高顧問で東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 森喜朗会長、パラサポ特別顧問の日本財団 笹川陽平会長、パラサポ会長 山脇康による登壇者挨拶の後、ParaFes ロゴオブジェの点灯が行われました。続いてスクリーンには国際パラリンピック委員会 アンドリュー・パーソンズ会長のメッセージ VTR が投影され、「僕の特別な友達、国際パラリンピック委員会特別親善大使(*1)を紹介しましょう！」の掛け声で、草薨剛さんと香取慎吾さんが登場。会場は歓声に包まれ、「パラフェス 2018、開幕です！」と開会が宣言されました。

ナビゲーターを務める草薨さんが満員の客席を見て、「こんなに大勢の方が集まってくれて、選手も嬉しいと思う」と感想を述べると、香取さんも、「2020 年も満員のお客さんで、選手を応援したいですね」と、東京 2020 パラリンピックへ向けての意気込みを語ったところで、アスリートによる“真剣勝負”がスタート。

まずは、東京 2020 パラリンピックで正式競技に採用された、テコンドーの勝負。日本チームをけん引するバイオニア、伊藤力選手と、ニューヒーロー星野佑介選手が登場し、東京 2020 パラリンピックで実際に行われる試合形式である 2 分×3 ラウンドの試合で対戦しました。開始早々、星野選手が 2 ポイントで先制するも、伊藤選手が連続得点で盛り返すなど一進一退で緊張感があふれる攻防が繰り広げられた結果、17-16 で伊藤選手が勝利しました。

伊藤選手は、「このような機会に、パラテコンドーを見ていただき、ありがとうございます。ぜひ、また見に来てください」とコメント、星野選手は、「負けてしまって悔しいですが、大きな舞台で試合を体験できて幸せです」と話し、ともに東京大会でのメダル獲得の目標を口にしていました。

続いては、パラリンピアンとオリンピックとの卓球での真剣勝負です。リオ 2016 パラリンピック代表の岩渕幸洋選手とリオデジャネイロオリンピック 2016 銀メダリストの吉村真晴選手が、パラアスリートから見える卓球台を具現化した世界初の“変形する卓球台”を使い、11 点先取の 1 セットマッチで真剣勝負を行いました。序盤は岩渕選手がリードするも、吉村選手が徐々に得点を重ね、熱い戦いの末、吉村選手が 11-5 で勝利しました。

岩渕選手は、「(大舞台での試合に)緊張しました。入りはよかったが、徐々に力が入ってしまいました。この経験を糧に、東京大会ではいいパフォーマンスをしたいです」と意気込みを語りました。また、吉村選手は、左サイドが長い変形した台での慣れない卓球に、「やりにくかったです。卓球台が広くて、スタミナも必要。岩渕くんのすごさを感じました。勝ててほっとしました」と感想を述べました。

最後は、車いすフェンシングの真剣勝負で、加納慎太郎選手が、ロンドンオリンピック 2012 銀メダリストの三宅諒さんと、エペ種目で5トゥッシュ先取の試合を行いました。三宅選手が先制するも、加納選手が徐々にリズムをつかみ、得点を重ねます。目にも止まらない素早い剣さばきが、観客を魅了。緊迫感あふれる戦いが繰り広げられた結果、5-3 で勝利したのは加納選手でした。

加納選手は、「応援のおかげで、勝つことができました。オリンピックの三宅選手と剣を交えられて、光栄でした」と感想を語ると、慣れない車いすに座っての競技に、三宅選手は、「(フットワークで逃げられない分)どこに行っても逃げられず、息のつかない競技でした」と、車いすフェンシングの難しさも語りました。ともに、「応援は力になる」と、会場での観戦を呼び掛けていました。

UNLOCKLIVE は、会場で配布されたアイマスクをつける「ブラインドコンサート」形式で、今回で3回目の登場となった全盲のシンガーソングライター木下航志さんの「明日に架ける橋」からスタート。続いて、リオ2016 パラリンピック閉会式でもパフォーマンスを披露した両腕のないブラジル人ピアニスト兼ギタリストのジョンナ・バストスさん(Johnatha Bastos)による「Just The Way You Are」が演奏された後、盲目の小学生ドラマー酒井響希さんが登場し、3人による「Isn't She Lovely」が披露されました。

ここで、現在、出演しているミュージカルの舞台終演後、パラフェスに駆け付けた稲垣吾郎さんがステージに登壇。「到着して、まだ5分だけど、もう感動しています」とコメントし、会場を盛り上げました。

最後に、May J.さんが加わってのスペシャルセッションがスタート。温かで透明感あふれる歌声と息の合った庄巻の演奏で、「This Is Me」が披露されると、会場は拍手に包まれました。May J.さんは、「3人の演奏がパワフルで、負けないように歌いました。このまま皆で、ツアーを回りたいくらいです」と感動のステージを振り返っていました。

SPECIAL LIVE では、パラフェス初参加の秦 基博さんが登場し、まず「アイ」を歌い上げると、「パラスポーツは初めて見ましたが、間近に見て、すごい迫力でした」と感想を語り、続いて、「鱗(うろこ)」を披露しました。ラストとなった秦さんの代表曲「ひまわりの約束」では、出演したアスリート、ミュージシャンら全員がひまわりの花を手に登壇し、一緒に歌唱。会場は黄色一色に染まり、ひまわり畑にいるような一体感に包まれました。

最後にグランドフィナーレとして、稲垣吾郎さん、草薙剛さん、香取慎吾さんによるパラスポーツ応援ソング「雨あがりのステップ」(*2)が披露されました。ステージ上の出演者と観客が一つになった華やかなフィナーレとなり、拍手と歓声の中 ParaFes 2018 は幕を閉じました。

～同時開催のパラスポーツ体験イベント「i enjoy! パラスポーツパーク in ParaFes 2018」には1300名が来場!～

今年は、隣接するサブアリーナにてテーマパーク型のパラスポーツ体験イベント「i enjoy! パラスポーツパーク in ParaFes 2018」(共催:武蔵野の森総合スポーツプラザ)が同時開催され、10組の動画クリエイターも含む約1,300人が来場し、様々なパラスポーツにチャレンジ。パラスポーツパークでは初めての実施となった視覚障害者柔道を始め、車いすバスケットボール、パラ陸上(レーサー)、ボッチャ、パラ卓球、パラ・パワーリフティングの計6種のパラスポーツ体験コーナーを開設。パラアスリートによるレクチャーもあり、障がいのあるなしにかかわらず、子どもも大人も一緒になってパラスポーツを楽しみました。

また、会場内には、ParaFes 2018 協賛各社のブースも出展され、今年の世界選手権においては見事金メダルを獲得した池崎大輔選手も来場し、タックル体験で会場を盛り上げた他、応援メッセージの書きなど、各社特徴あるブースそれぞれは多くの来場者でにぎわっていました。

特設ステージでは、ソウル 1988 パラリンピック金メダリスト(陸上競技)の永尾由美氏が講師をつとめる「あすチャレ! Academy」と、アテネ 2004 パラリンピック銅メダリスト(水泳)の杉内周作氏による講演「知ら

【本件に関するメディア様からのお問い合わせ】
パラサポ PR 事務局 (株式会社アンティル内)
担当: 小山・根本

TEL: 03-5572-6063 / FAX: 03-6685-5265 / Mail: parasapo@vectorinc.co.jp

なきや損！パラスポーツの魅力」も行われました。永尾氏は、「うなずきや笑い声など反応が多く、来場者の熱心さが伝わってきました」と話していました。

会場ではさらに、香取さんがパラサポのキーメッセージである「i enjoy !」をテーマに描いた壁画(縦 2.6 m、横 6.1m)をレゴブロックで実寸大で再現した「レゴ壁画」もお披露目されました。普段は「日本財団パラアリーナ」に展示され一般公開はされていないこともあり、多くの来場者が記念撮影するなど、貴重な機会を楽しんでいました。

今回のすべてのイベントを支えたボランティアとして、視覚障がい者や聴覚障がい者を含む約 190 人が参加。ParaFes 会場は、車いす席とアクセシブルシートに加え、聴覚障がい対応席を設け、手話パフォーマーによる情報保障も提供しました。

■実施概要

名称：ParaFes 2018(パラフェス 2018)

日時：2018 年 11 月 23 日(金・祝) 16 時～19 時

会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ(東京都調布市西町 290-11)

主催：公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター

協賛：[ゴールドパートナー] 野村ホールディングス株式会社

[オフィシャルパートナー] JXTGエネルギー株式会社、日本航空株式会社、三井不動産

株式会社

後援：スポーツ庁、東京都、障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟、
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

■登壇者(敬称略)

森 喜朗(日本財団パラリンピックサポートセンター 最高顧問、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長)

野田 聖子(障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟 2020 年パラリンピック東京大会成功作業チーム 座長)

笹川 陽平(日本財団パラリンピックサポートセンター 特別顧問、日本財団 会長)

山脇 康(日本財団パラリンピックサポートセンター 会長)

アンドリュー・パーソンズ(国際パラリンピック委員会 会長) ※VTR 出演

■日本財団パラリンピックサポートセンター スペシャルサポーター(敬称略)

稲垣 吾郎、草薨 剛、香取 慎吾

■アーティスト(敬称略)

秦 基博、May J.、ジョナタ・バストス (Johnatha Bastos)、木下 航志、酒井 響希

■バラアスリート(敬称略)

伊藤 力【パラテコンドー】、星野 佑介【パラテコンドー】、岩渕 幸洋【パラ卓球】、加納 慎太郎【車いすフェンシング】

■オリンピアン(敬称略)

吉村 真晴【卓球】、三宅 諒【フェンシング】

(※1)国際パラリンピック委員会特別親善大使就任について

2018 年 7 月 8 日に開催されたパラスポーツ応援チャリティーソング『雨あがりのステップ』寄付贈呈式に出席した国際パラリンピック委員会(IPC)のパーソンズ会長が、稲垣さん、草薨さん、香取さんに対し“東京 2020 パラリンピック競技大会に向けての国際パラリンピック委員会特別親善大使(International Paralympic Committee (IPC) Special Ambassador toward Tokyo 2020 Paralympic Games)”就任を要請し、3 人がその場で快諾した。

(※2)パラスポーツ応援ソング『雨あがりのステップ』について

『雨あがりのステップ』は、パラスポーツ支援を目的とし Warner Music Japan と作曲家・菅野よう子氏、作詞家・麻生哲朗氏らの賛同の元で書き下ろされたオリジナル楽曲。3 月 19 日から 6 月 30 日まで期間、パラスポーツ応援チャリティーソングとして、iTunes Store、レコチョク限定でリリース。

チャリティー期間中の売上金額総額は日本財団パラリンピックサポートセンターを通じ、6 万ユーロ(約 780 万円)が国際パラリンピック委員会公認パラリンピック教材の世界各国への普及活動を行うアギス財団へ、約 1,520 万円が国内のパラスポーツ普及支援を目的に、パラリンピック競技団体の実施する大会観戦・イベント参加拡大に寄与する事業への支援金として現在、活用されている。

関連記事)<https://www.parasapo.tokyo/topics/8145>

【本件に関するメディア様からのお問い合わせ】

パラサポ PR 事務局 (株式会社アンティル内)

担当：小山・根本

TEL: 03-5572-6063 / FAX: 03-6685-5265 / Mail: parasapo@vectorinc.co.jp

ParaFes 2018 Photo

オープニング



パラフェスダンサーズによるオープニングパフォーマンス



左) 笹川 陽平 日本財団 会長、日本財団パラリンピックサポートセンター 特別顧問

中央) 森 喜朗 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長、日本財団パラリンピックサポートセンター 最高顧問

右) 山脇 康 日本財団パラリンピックサポートセンター 会長



パラテコンドー真剣勝負 伊藤力選手(青) vs 星野佑介選手(赤)



「変形する卓球台による卓球真剣勝負 吉村真晴選手(黄) vs 岩淵幸洋選手(赤)



車いすフェンシング真剣勝負 三宅諒選手(左) vs 加納慎太郎選手(右)



UNLOCK LIVE の感想を語るパラサポのスペシャルサポーター 稲垣さん、草薨さん、香取さん



出演者全員で歌った「ひまわりの約束」

野田 聖子 障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟 2020 年
パラリンピック東京大会成功作業チーム 座長もアスリートたちとフィナーレに参加



UNLOCK LIVE: 木下航志さん、ジョナタ・バストスさん、酒井響希さん



UNLOCK LIVE の May Jさん

SPECIAL LIVE に登場した秦 基博さん



グランドフィナーレ



6,000 人の観客の熱気とともに幕を閉じた ParaFes 2018